

第2回 がんクリニカルシーケンスセミナー

遺伝子検査に基づく がんの個別化治療にむけて

ゲノム医学の進歩により、悪性腫瘍（がん）は種々の遺伝子異常の蓄積によって発症する、いわゆる「遺伝子病」であることが明らかとなってきました。さらに次世代シーケンサー（NGS）の開発・導入により、診断・治療のパラダイムシフトが起こり、特に癌の分子標的治療薬の開発・適応には個々の症例における遺伝子プロファイリングが必須となっています。本セミナーシリーズでは、網羅的がん遺伝子解析および、遺伝子プロファイルに基づくがん個別化治療について、当該分野のオピニオンリーダーの講師をお招きし、最新の知見を紹介していただきます。

18:30~19:30

Clinical Sequenceにおけるデータ解析

天野 虎次（北海道大学病院臨床研究開発センター 助教）

演者略歴： 2000年 北海道大学医学部卒業
2004年 北海道大学病院 腫瘍内科 医員
2007年 東京大学生物統計学講座 研究員（公衆衛生学修士）
2009年 北海道大学病院 腫瘍内科 医員
2012年 北海道大学病院 特任助教（臨床研究開発センター）
2015年 MSKCC留学
2016年 北海道大学病院 助教（臨床研究開発センター）

平成28年11月2日（水） 18:30~

北海道大学医学部 臨床講義棟 第3講堂

お問合せ先

北海道大学病院 がん遺伝子診断部 ☎ 011-706-7778 (FAX; 7099)

主催

北海道大学病院

北海道大学大学院医学研究科

がん遺伝子診断部

探索病理学講座